

平成 28 年度
ボランティアハウス
アンケート集計結果

平成 29 年 7 月
社会福祉法人各務原市社会福祉協議会

1. 目的

本会では、地区社協を通じて地域の集いの場であるボランティアハウス事業を推進している。ボランティアハウス事業の現状を昨年と比較し把握するとともに、介護予防日常生活支援総合事業（以下、総合事業という。）における通所型B（住民型）との関わりを想定しアンケート調査を行った。

2. 期間

平成29年3月～4月

3. 対象

平成29年3月時点で活動を行っているボランティアハウス 97か所

4. 回収率

平成28年度集計 85.56% 回答数83ハウス/対象97ハウス
※ 平成27年度集計 84.61% 回答数77ハウス/対象91ハウス

5. 総括

【運営上の課題と対応】

設問1、2では運営する上での課題および対応を尋ねた。ボランティアハウスが抱える課題として①担い手不足や高齢化、②参加者の固定化などの課題が多かった。また、その他には「坂道が多い」など会場までのアクセスの課題も抱えていることがわかった。

27年度に比較し、担い手の不足に対する意見の比率が増えている。

【参加者について】

設問3、4、6、7では参加者について尋ねた。一年前と比較し46%は参加者数に変化はない、27%が増えている、25%が減っているとの回答であった。昨年の同じ質問では、30%が増え、27%が減り、43%が変化なしであった。また、男女比は71%が女性の参加が多いと回答している。比率は昨年のアンケートと大差はないが、男性のみのハウスがなくなっている。要支援・要介護認定を受けている参加者の数は33%で、約1/3が認定を受けている。昨年の同じ質問と比較し、認定者数が減っている。

認知症については「いない」という回答が大きく減った。「いる」という回答も減っているが要支援・要介護認定を受けている参加者と重複する部分もあるかと思われ、介護予防が必要である参加者が半数近くである。

【プログラムについて】

設問8、9ではハウスのプログラムについて調査を行った。総合事業における通所型B（住民型）では介護予防体操を行うことを求めており、74%のハウスが毎回または毎回でないが体操をプログラムに取り入れていた。22%が体操を行っていないという結果であった。また、評判の良いプログラムとして、昨年同様「おしゃべり」が最も多い回答であった。

昨年よりの大きな変化として「健康体操」の評価が下がり「健康チェック」の評判が伸びている。

【自治会との連携について】

設問5では自治会との協力関係について調査した。自治会より助成金を受けているハウスが微増となった。また、回覧や会場の確保など自治会との協力関係を築けているハウスがほぼすべてであった。

【相談先について】

設問10では、ハウスで困った際の相談先を確認した。ボランティア同士で相談したり、市社協・地区社協・地域包括支援センター・民生委員などに相談出来ていることが判明したが、3ハウスは相談先がないと回答しており、今後フォローしていくことが必要である。

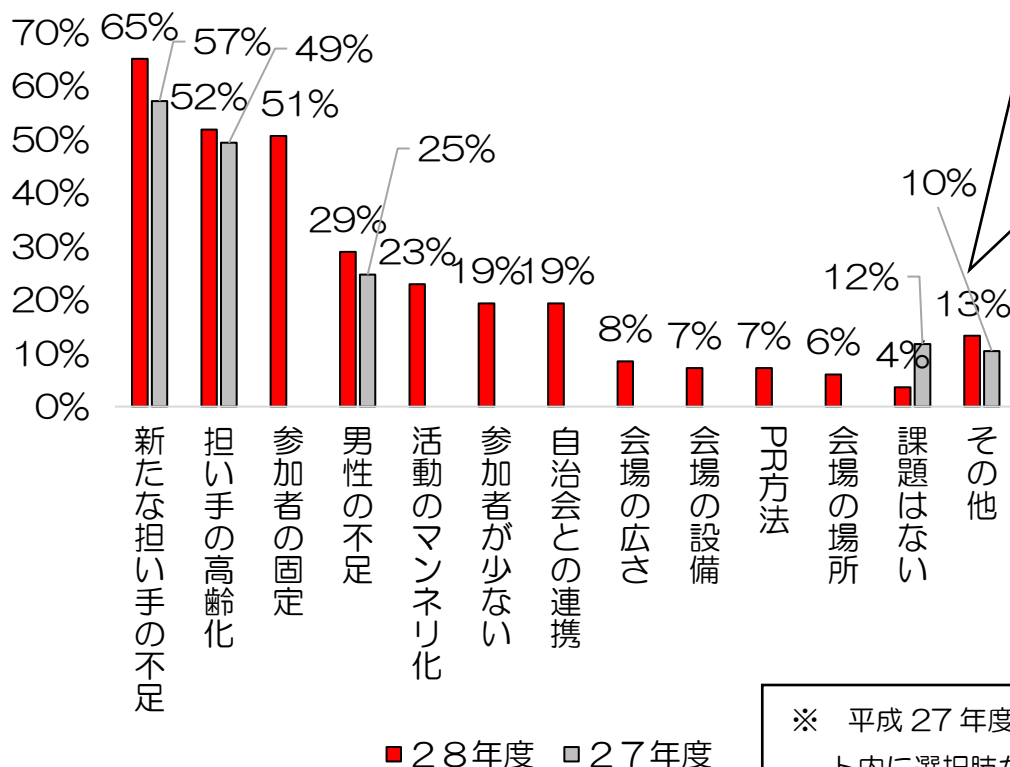
【自由意見】

設問11では、社協への要望を自由記載してもらった。多い記載内容として平成27年度まで行われていた「バスツアー助成」について助成の復活を求める意見や参加人数に応じた活動費助成について意見もあった。

また、中には他のボランティアハウスとの情報交換を望む意見もいくつか見受けられた。

6. 集計結果

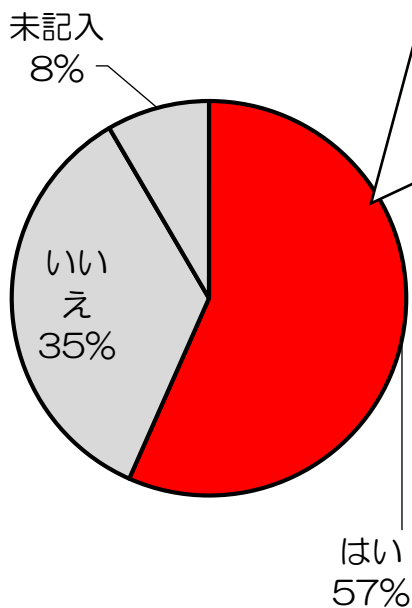
1. ボランティアハウスを運営する上で課題だと感じていることはありますか。



- ・新しい参加者を増やす
- ・講師の不足、高齢化
- ・坂の多い地域であるため歩行が辛い
- ・机、椅子の出し入れが大変になってきた
- ・運営費の不足
- ・地震、火災など災害時の避難
- ・急患発生時の処置、対応等

※ 平成27年度「0」の部分はアンケート内に選択肢がありませんでした。

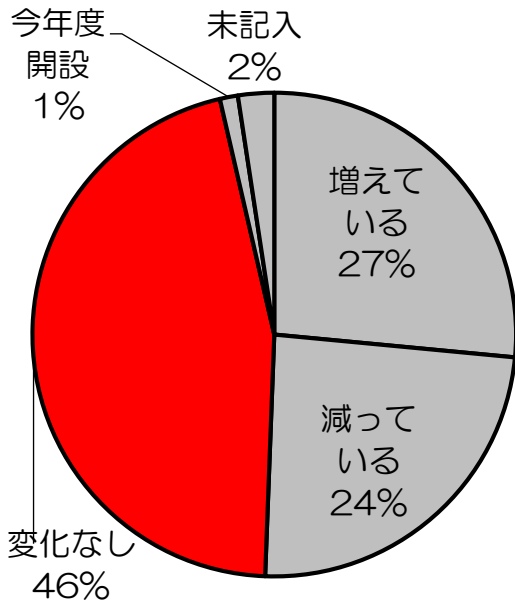
2. 問題解決のために工夫していることはありますか。



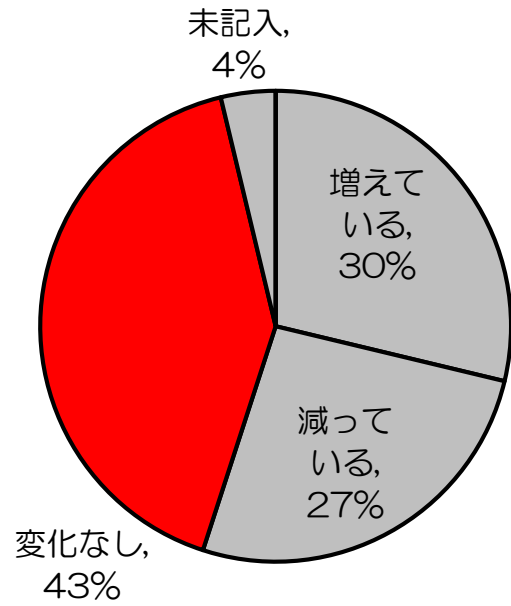
工夫していること

- ・声かけを行う（ボランティアが）
（欠席した方、新しい参加者、個別訪問）
- ・回覧板、案内、通信、掲示板の利用（活動内容、開催予定、行事予定）
- ・異世代とのふれあいを図り、新たな担い手の発掘に繋げる
- ・企画準備スタッフ会議に参加してもらう
- ・地域の中からボランティアの募集
- ・自治会と連携し次年度予算内に助成金を組みこんでもらった
- ・民生委員の協力 ・シニアクラブの参加の呼びかけ
- ・地区社協内にミニサロン委員会を設けた
- ・活動終了後、反省会等を開き意見交換をしている
- ・アンケートをとる ・仕事の分担
- ・参加しやすい日を模索 ・PR方法の模索
- ・講師を探す ・外出活動を行う
- ・参加メンバーの希望をプログラムに反映
- ・季節感のあるものを用意する

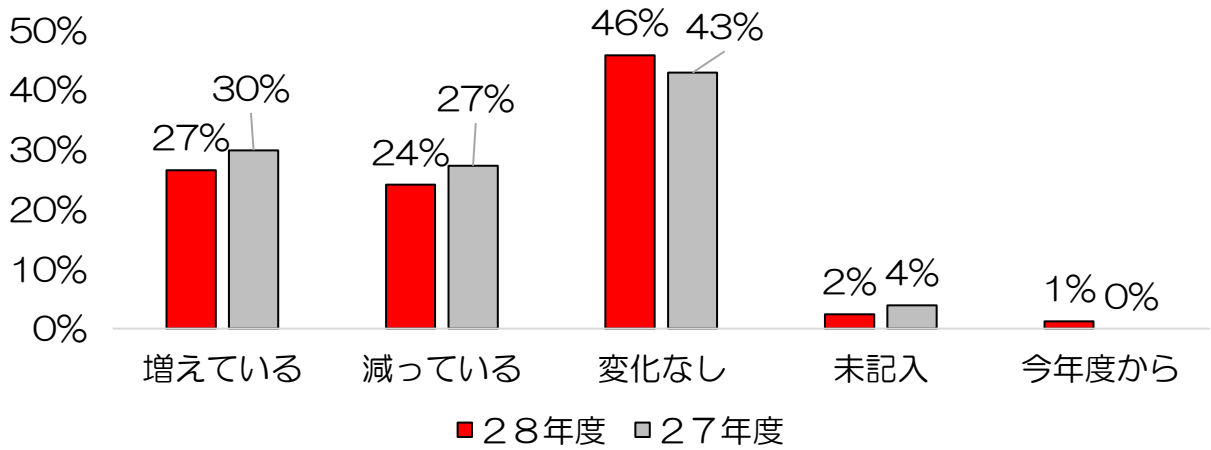
3.一年前に比べて参加者の人数
に変化はありますか。
(28年度)



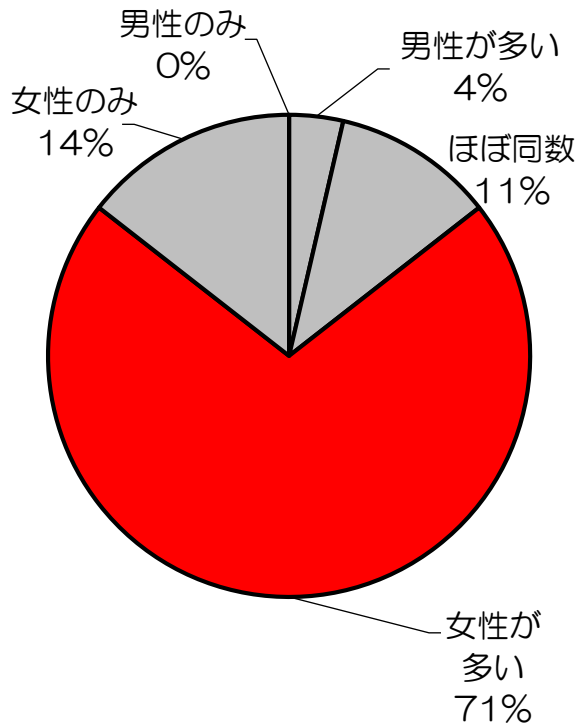
3.一年前に比べて参加者の人数
に変化はありますか。
(27年度)



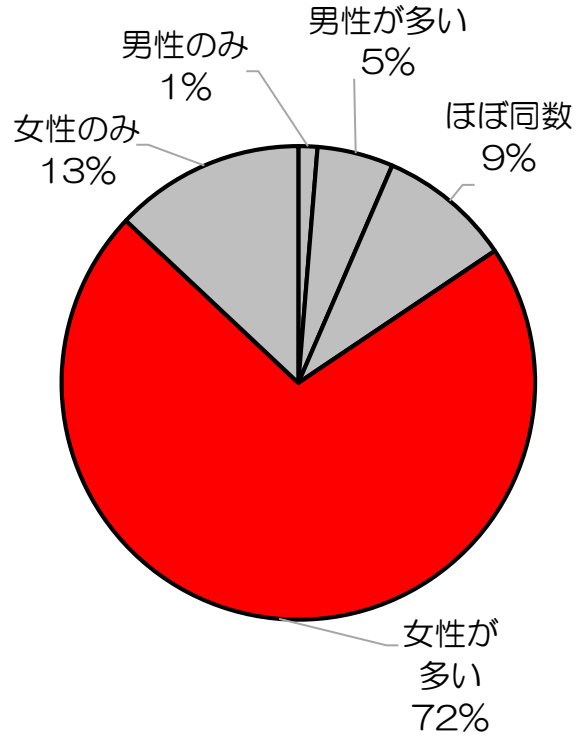
3.一年前に比べて参加者の人数に変化はありますか。
(27年度、28年度比較)



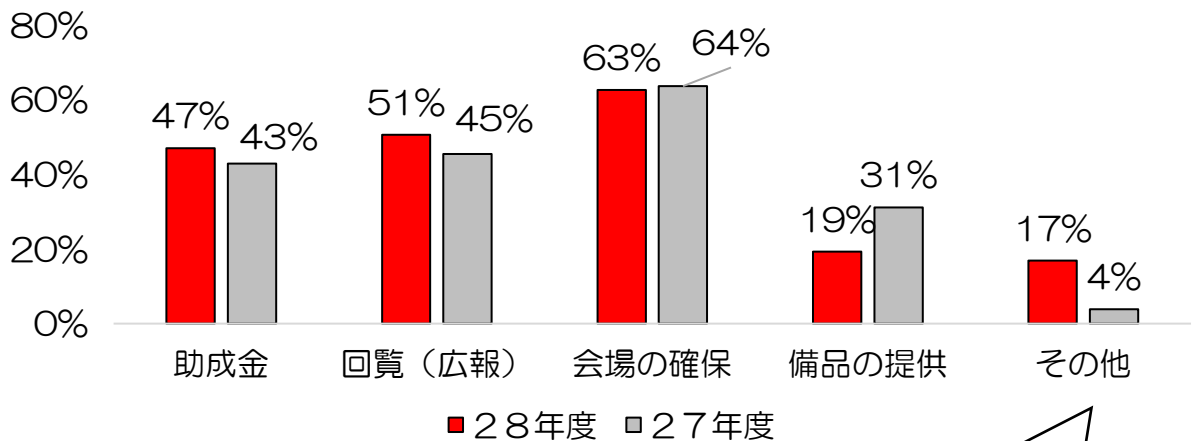
4.参加者の構成（男女）について教えてください。（28年度）



4.参加者の構成（男女）について教えてください。（27年度）

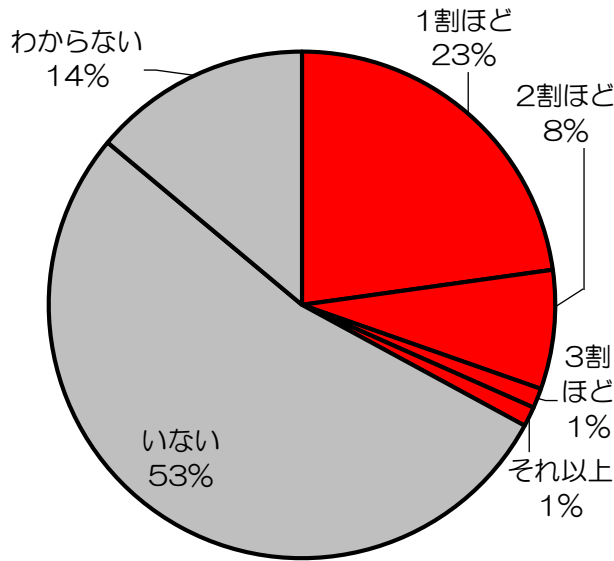


5.自治会から協力いただいていることを教えてください。（27年度、28年度比較）

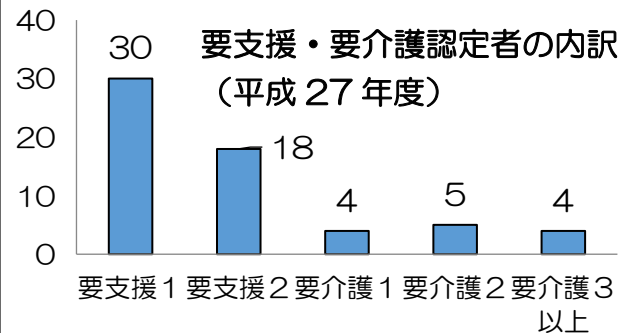
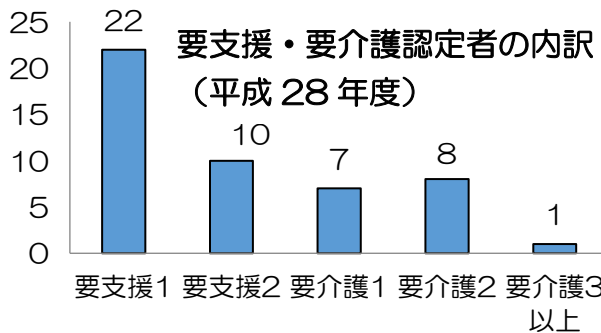
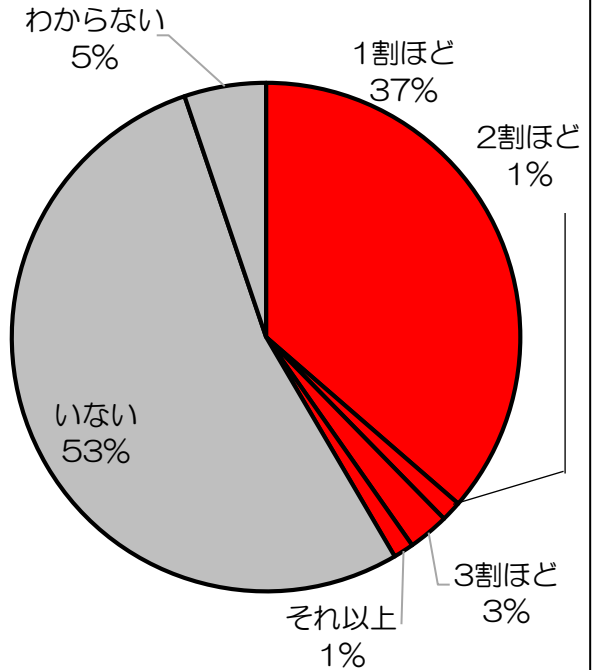


光熱費の負担・助成
 自治会等に会場提供
 備品の提供
 自治会の会合に参加
 近隣ケアグループの方にボランティアのお願い
 ボランティア参加

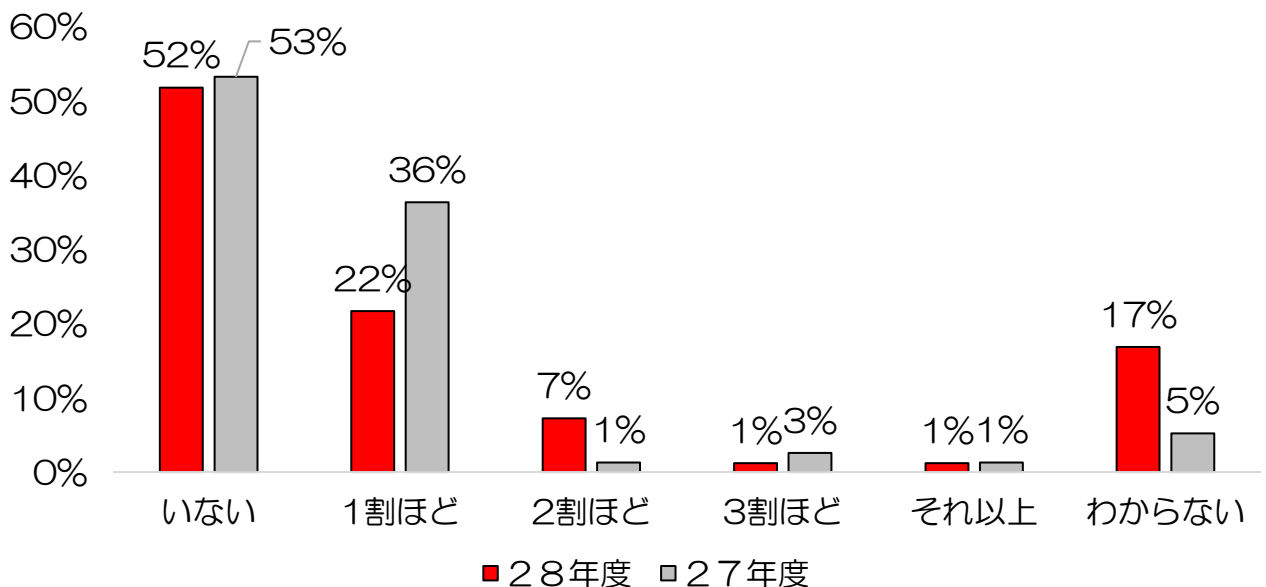
6.要支援、要介護の認定を受けている参加者はいますか（28年度）



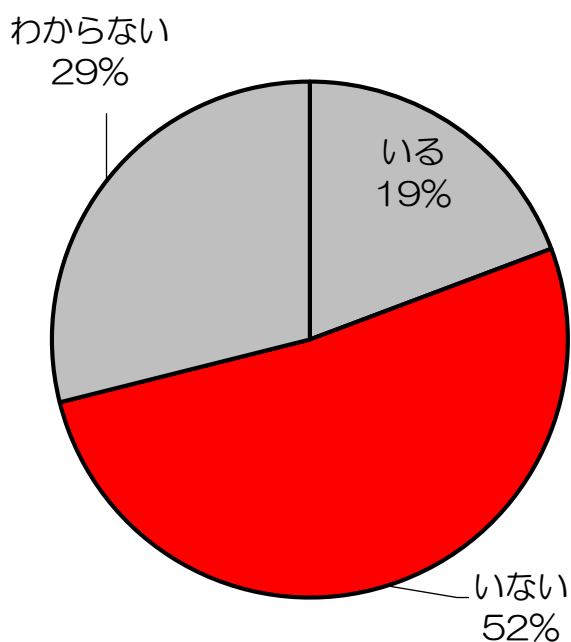
6.要支援、要介護の認定を受けている参加者はいますか（27年度）



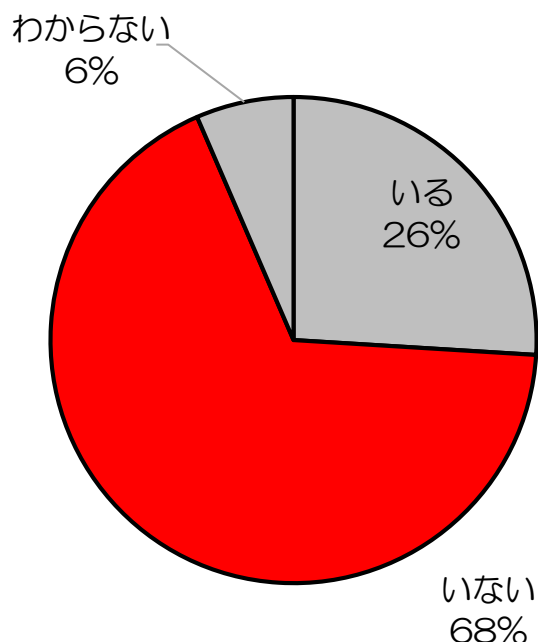
6.要支援、要介護の認定を受けている参加者はいますか。（27年度、28年度比較）



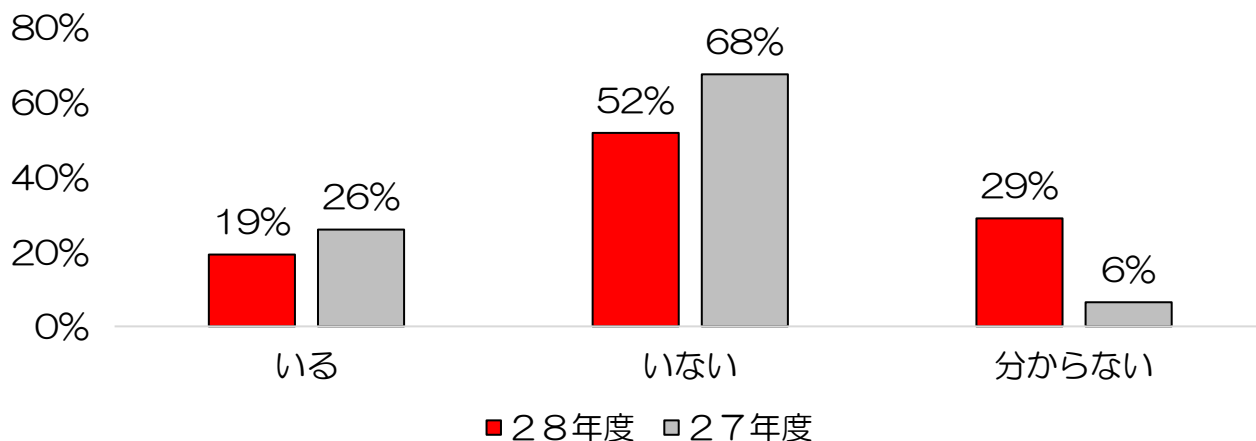
7.認知症と思われる参加者はいますか。(28年度)



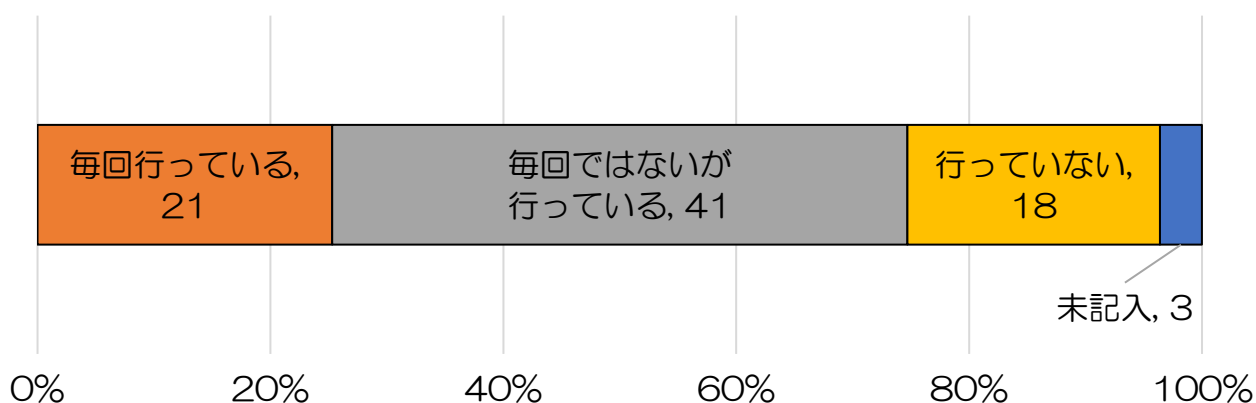
7.認知症と思われる参加者はいますか。(27年度)



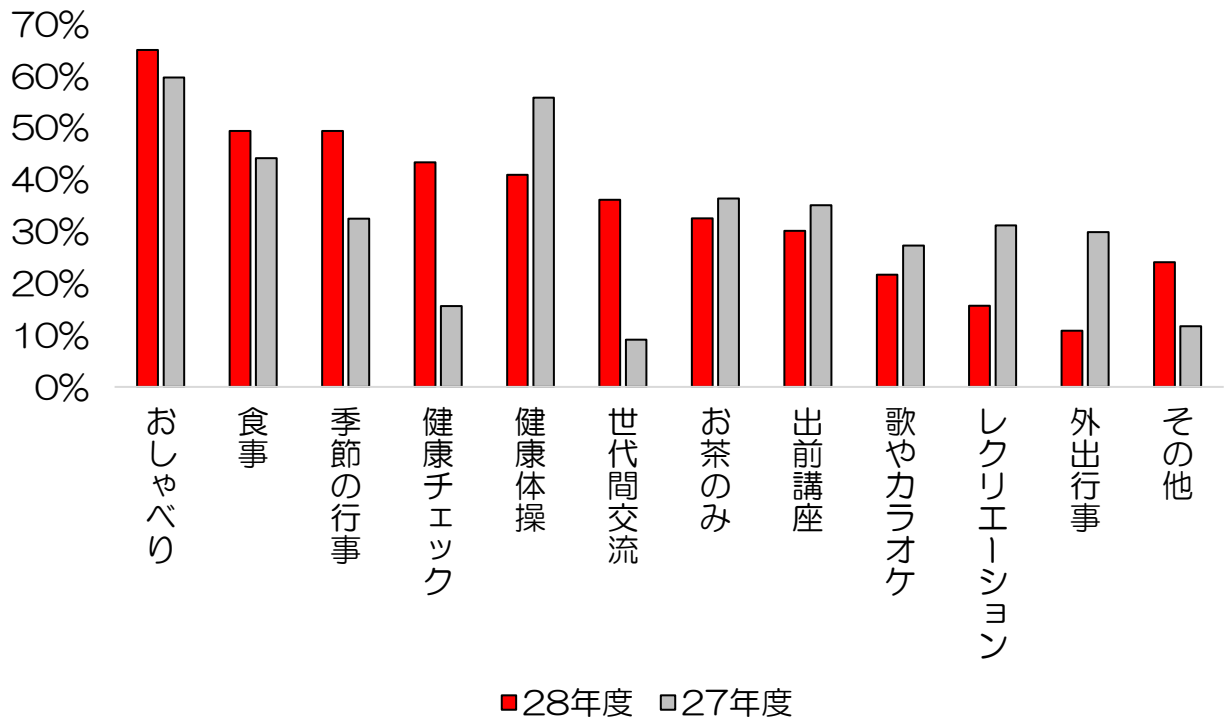
7.認知症と思われる参加者はいますか。(27年度、28年度比較)



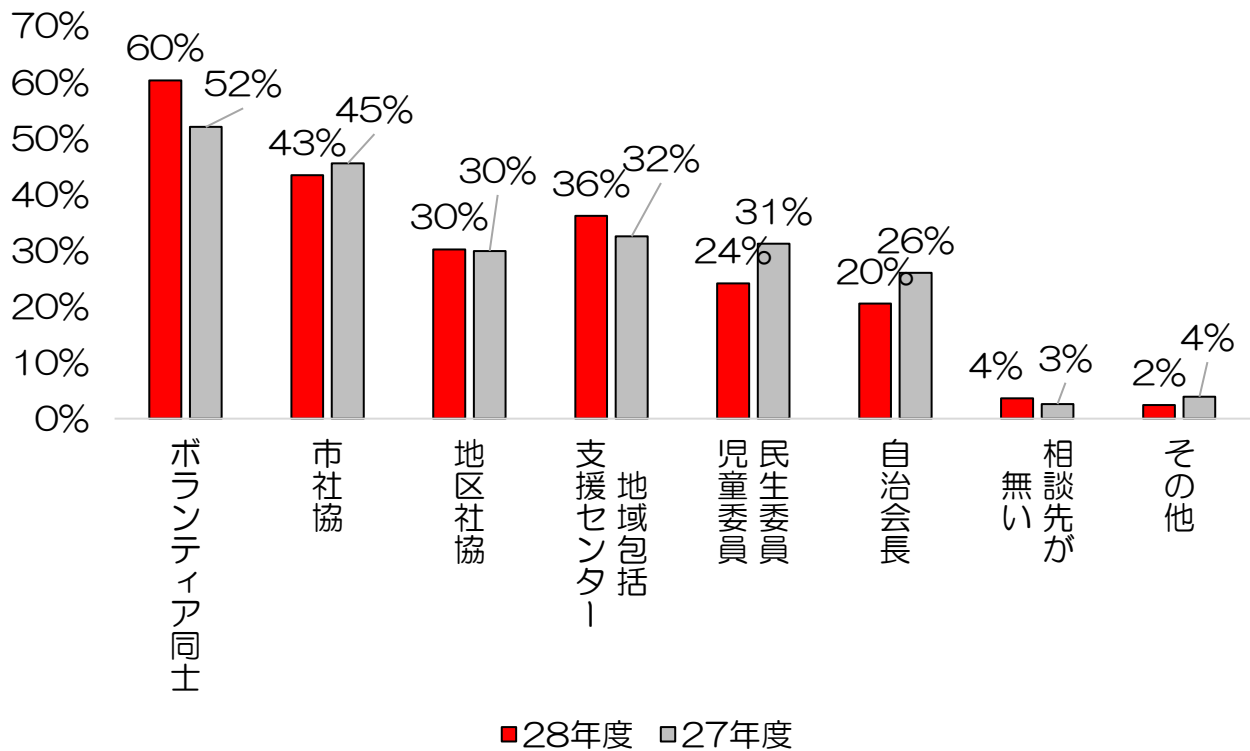
8.健康体操を行っていますか。



9.評判の良いプログラムについて教えてください。
 (複数回答可) (27年度、28年度比較)



10.ハウスの運営・活動で困ったときの相談先はありますか。
 (複数回答可) (27年度、28年度比較)



1.1.社協へ対する要望等自由記述

(一部、趣旨を変えない程度に加筆修正を加えています。)

【バスツアーについて】

- ・年に一回くらいは、遠足程度の日帰りバスツアーをしたい。25人乗り位のマイクロバスを1日借りられる程度の補助金制度が欲しい。
- ・バスツアー助成金を復活していただけるとありがたいです。
- ・27年度までであった、バス旅行助成金の原資が現在どうなったのか教えて欲しいです。
- ・昔は年1回バスにて色々な所に行きましたが、今はなくなりましたので、復活(社協がバス代金)をして頂きたいと思います。
- ・バス旅行に行けたらうれしいです。(利用者からの希望です)
市の駐車場を使用する時、助成金が欲しいです。(3時間過ぎるので)
- ・以前ありましたバスツアー助成金の復活を望みます。介護の方に使いたいということでしたが、介護も必要ですがそうならない為に出掛けるということも必要なことだと思います。7万円、9万円でなくても少しでも助成していただくと、皆さんの負担が少なく、喜んでいただけるのではないのでしょうか？高齢になると1人で旅行はなかなかいきません。近所の仲間と一緒にいけるのではないのでしょうか？ちなみに28年度実費でバス旅行を実施しました。

【活動助成金について】

- ・助成金の増額 3000円/回→5000円/回
- ・評判の良い市民講師による講座の交通費が負担となっているため、社協で補助してほしい。
- ・助成金は、平均参加者の人数も考慮してほしい。
(助成金は会場費であり一律であるというのが市社協の考え?)
- ・助成金(月3000円)のみで運営しています。ボランティアの協力で何とかまかっていますが大変です。次代(ボランティア)につながるのでは…?検討していただくとありがたいです。
- ・助成金の支援を続けていただきたい。
- ・ハウスの種類でA型とB型の運営助成の間隔が多いように思いますが(経費的にも)、ご検討お願いいたします。
- ・人数にも20人以上とか30人以上とかランクをつけて頂きたいです。

【社協職員の訪問】

- ・スタッフも参加者も楽しくやっています。時々顔を出して下さい。はげみになります。
- ・社協からも見学に来て御意見など聞かせていただきたい。

【備品について】

- 現在平均 40 名弱の利用者さんに提供する飲物やお菓子に使用出来る予算は 4000 円程度です。提供するものはトーストなどの軽食に果物と少量の菓子やアメなどですが、年々調達が難しくなり、破損した備品を補充する余裕もありません。
- 公民館（自治会）としては、低い長椅子テーブルはたくさん用意されていますが、現在ボランティアハウスには足腰が悪い方は増え、正座しておしゃべり、食事が難しい。高齢者の皆さんに楽しく遊んでおしゃべりできるには、背高長椅子テーブルを購入したいと思いましたが、ハウス費用からは捻出できず困っています。
- 備品等について当初に認められておりますが、ハウス継続しておりますと途中にて備品等の購入が必要となる事があります。設備品（備品費）の有り方について見直し頂ければ幸いです。
- ゲームの道具は貸出しではなく供与してほしい。
- 体操を毎回やりたいので、たとえば稲田園で行う体操の DVD が欲しいです。
- 参加者は運動をゲーム形式で行うことを楽しんでおられます。簡単なゲームを毎回取り入れたいと思っています。用具の貸出しをお願いします。

【情報提供について】

- ボランティアハウスの事を知らない人が多いので、市全体で PR してほしい。
- 住宅を 1 日開放する形の小規模のハウスですが、大変なことも多々ありますが、利用者の笑顔とスタッフに支えられて続けています。以後鵜沼地区にも多くハウスが出来ました。そして広報誌にも度々取り上げられています。当ハウスは 9 年目になりますが、一度も広報誌にのせてもらっていません。頑張ってくれているスタッフにもメールが欲しいです。よろしくお願いします。

【他のグループとの交流】

- 今回、初めてのボランティアハウス開始ということで、無事 4 回開催できて良かった！という安堵感で今はいっぱいです。これからも同じようなプログラム（歌って、おしゃべりして…）でいきたいと思います。レクリエーションの物品貸し出しがあるのは興味深かったです。これを使ってやられたボランティアハウスの方に感想等を伺える機会があればいいなと思いました。
- 技術支援、活動方法について支援が得られたら心強いと思われる。
- 他のサロンとの交流方学びが深まると考えられるので、そのような機会を作してほしい。

【書類について】

- 監査報告の書類のマンネリ化。本当にこの報告書は必要ですか。出てきた書類の活用方法は？最低限の書類だけにして必要ならばチェックに来てください。
- 報告書の様式〇号やひな型を余り変えないで。

【近隣ケアグループについて】

- 近隣ケアグループの現金出納簿からは、別に分けて、ボランティアハウス用の出納簿を作る必要があるのかが良く分かっていませんでした。
- 自治会の方に近隣ケアへの参加呼びかけをお願いした。
- 複写が4枚になり、パソコンでの入力が出来なくなって、面倒。作成に時間がかかる。

【講師派遣について】

- 社協さんには講師派遣して、ご支援ご指導ありがとうございます。お陰をもちまして、第二木曜日の開催には、40名弱の皆さんが参加していただいています。今後も、講師派遣等ご支援のほどよろしくお願いします。
- ボランティアの育成講座(健康体操等を指導できる人が高齢になられてきました)。
- 各サロンの前に出来る簡単な体操(座ってできる)を教えてください。(高齢でできるラジオ体操の様なもの)あと、コーラスの前など声を出しやすくするトレーニングがあれば教えてください。
- 健康に関する講演会も希望があり、良い講師の紹介をお願いします。
- サロンを長く続けていると、どうしてもレクリエーションの内容が同じ人に依頼することになり、マンネリ化の傾向にあるので情報の提供をしていただければと思います。
- 皆様と協力しながら、毎回楽しくさせていただいていますので今は感謝です。
- シニアの連合会から、出前講座で「ハウス」を行ってほしいという要望が来るが、「ハウス」の計画立案の3月末までに情報が欲しい。

【課題】

- 月曜日後半、マーじゃんをする人とそうでない人が出来ました。マーじゃん以外の楽しみとして、自作でカルタ・トランプ・輪投げ・あいうえおカードなど作成し、遊んでもらっていますが、いまいち満足し楽しそうに遊んでもらっていない。どうすれば良いですか？
- 食事提供に伴い、ボランティアさん(食事作りの協力者)に検便の補助をお願いしたい。安心して食べて頂けるためには、必要ではないか？
- 利用者の方も高齢化してきますが、私たちスタッフも高齢化して、50代から60代でボランティアをしようという人たちがいないということです。これからの一番の課題です。
- 中心になって運営しているボランティアが高齢化してきていて、若い方は役員として運営に参加することは無理と言われますので、今のままでは開催する数を減らさざるを得なくなりました。

【その他】

- ボランティアハウス事業を実施する上で、公民館の改修については（自治会の主管事業ではありませんが）福祉協議会からも市当局への補助金の働きかけをご支援賜ればありがたいです。
- 会場の問題。椅子席で集まれるような場所が欲しい。空家が利用出来るようになればいいが、毎日気楽に寄れる場所。
今は、高齢者の集まりになっているが、子育ての方が来られるように遊具やおもちゃ等置いて、交流できたらいいが。
- 6項については、何かにつけ個人情報として詳しく把握することが出来ず、こうした中で、唯一ボランティア活動の私達が要支援や要介護の対象者の把握などらしき状況を知るだけで、到底口にも出せません。この件に関しての問いは当然のことながら、民生委員に是非お尋ね頂きたいと思います。わがハウスにも対象者であろうと思われる方もお見えになりますが、私達としての立場上決定づける訳にはいきませんので、利用者皆さんにあまり迷惑にならない様手助けしながら一緒に活動して頂いております。

【お礼】

- 気軽に対応していただけるのでありがたいと思っております。社協主催の行事などありましたら早めに教えて頂けるとうれしいです。
- ボランティアハウスを立ち上げる時に、社協の方が協力して下さって大変助かりました。とても感謝しています。
- ありがとうございます。何かとアドバイスしていただき、感謝しています。

7. 資料

ボランティアハウスアンケート（平成28年度版）

昨年度に行ったアンケートと比較するため、ご協力をお願いします。以下の設問について該当する○を黒く塗りつぶしてください。

ハウス名 _____

1. ボランティアハウスを運営する上で課題だと感じていることはありますか。（複数回答可）

- 担い手の高齢化 新たな担い手の不足 男性の不足（力仕事が大変等）
 参加者の固定 参加者が少ない 会場の広さ
 会場の場所 会場の設備 自治会との連携
 活動のマナー化 PR 方法 課題はない
 その他（ _____ ）

2. 課題解決のために工夫していることはありますか。

- はい いいえ

「はい」と回答された方は工夫していることを具体的に教えてください。

[_____]

3. 1年前に比べて参加者の人数に変化はありますか。

- 増えている 減っている 変化なし

4. 参加者の構成（男女）について教えてください。

- 男性のみ 男性が多い ほぼ同数 女性が多い 女性のみ

5. 自治会から協力いただいていることを教えてください。（複数回答可）

- 助成金 回覧（広報） 会場の確保 備品の提供
 その他（ _____ ）

6. 要支援、要介護の認定を受けている参加者はいますか。

- いない 1割ほど 2割ほど 3割ほど それ以上

具体的な人数がわかればご記入ください。

要支援1（ 人） 要支援2（ 人）

要介護1（ 人） 要介護2（ 人） 要介護3以上（ 人）

7. 認知症と思われる参加者はいますか。

- いる いない わからない

8. 健康体操を行っていますか。

- 毎回行っている 毎回ではないが行っている 行っていない

9. 評判の良いプログラムについて教えてください。(複数回答可)

- おしゃべり 健康体操 お茶のみ 歌やカラオケ
季節の行事 外出行事 食 事 健康チェック
出前講座 世代間交流 レクリエーション
その他 ()

10. ハウスの運営・活動で困ったときの相談先はありますか。(複数回答可)

- ボランティア同士 地区社協 市社協 地域包括支援センター
民生委員児童委員 自治会長 相談先がない その他 ()

11. その他社協への要望等ございましたらご記入ください。(自由記述)

[

]

ご協力ありがとうございました。

本アンケートは、提出期限までに各務原市社会福祉協議会までご提出ください。併せて自治会回覧文書等の周知文書を添付してください。アンケートはFAXでの提出も可能です。

FAX：058-382-3233

提出期限 平成29年4月17日(月)

ボランティアハウス代表者様アンケート（平成 27 年度版）

ご自身が代表を務めているボランティアハウスについてお尋ねします。以下の設問について該当する○を鉛筆またはボールペンで黒く塗りつぶしてください。

ハウス名 _____

1. 1年前に比べてボランティアの人数に変化はありますか。

増えている 減っている 変化なし

2. ボランティアについて課題だと感じていることはありますか。

担い手の高齢化 新たな担い手の不足 男性の不足（力仕事が大変等）
 課題はない その他（ ）

3. 1年前に比べて参加者の人数に変化はありますか。

増えている 減っている 変化なし

4. 参加者の構成（男女）について教えてください。

男性のみ 男性が多い ほぼ同数 女性が多い 女性のみ

5. 認知症と思われる参加者はいますか。

いる いない わからない

6. 要支援、要介護の認定を受けている参加者はいますか。

いない 1割ほど 2割ほど 3割ほど

それ以上

具体的な人数がわかればご記入ください。

要支援 1（ 人） 要支援 2（ 人）

要介護 1（ 人） 要介護 2（ 人） 要介護 3以上（ 人）

7. 健康体操、脳トレ、口腔機能訓練などの介護予防活動を行っていますか。

毎回行っている 時々行っている 行っていない

8. 健康体操、脳トレ、口腔機能訓練など介護予防のための講師派遣を希望しますか。

希望する 希望しない

どの程度の頻度で派遣を希望しますか。

1年に1回程度 半年に1回程度 2、3ヶ月に1回程度

9. 評判の良いプログラムについて教えてください。(複数回答可)

- おしゃべり 健康体操 お茶のみ 歌やカラオケ
季節の行事 外出行事 食 事 健康チェック
出前講座 世代間交流 レクリエーション
その他 ()

10. もっと多くの人に来てもらうためになにが必要だと思いますか。

- 送迎 広い会場 会場の設備 ボランティアの増加
その他 ()

11. 自治会からの協力いただいていることを教えてください。(複数回答可)

- 助成金 回覧 (広報) 会場の確保 備品の提供
その他 ()

12. ハウスの運営費について教えてください。

- 余裕がある 丁度良い なんとかやりくりできている 足りない

13. ハウスの運営・活動で困ったとき相談先はありますか。(複数回答可)

- ボランティア同士 地区社協 市社協 地域包括支援センター
民生委員児童委員 自治会長 相談先がない その他 ()

14. その他社協への要望等ございましたらご記入ください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました。

本アンケートは、提出期限までに各務原市社会福祉協議会までご提出ください。

提出期限 平成28年4月15日 (金)